

山口大学 グローカル環境・防災学研究会主催 近年の豪雨災害に学ぶ防災・減災

開催案内

●講演会の開催趣旨

平成 29 年 7 月には九州北部豪雨災害が、平成 30 年 7 月には西日本豪雨災害が発生し、甚大な人的被害をもたらした。九州北部豪雨災害では局所的な豪雨により、山地河川に大量の土砂・流木が流入することにより被害が拡大した。西日本豪雨災害では九州から中部にかけての広範囲にわたる記録的な大雨によって、広島県、岡山県、愛媛県をはじめとして各地で河川氾濫や土砂災害が発生した。本講演会ではこれらの豪雨災害から得られた知見についてご講演いただくとともに、今後の防災・減災のあり方について議論したいと思います。

参加無料

〈日時〉平成 30 年 11 月 10 日(土)

13:00~17:30 (受付 12:30~)

〈場所〉：山口大学工学部 D11 講義室

●プログラム 12:30~ 受付開始

-----司会：赤松 良久 -----

13:00~13:10 開会挨拶

13:10~13:50 「災害対応における宇宙インフラ利用の挑戦」

長井 正彦 (山口大学大学院創成科学研究科・准教授)

13:50~14:30 「2 度の九州北部豪雨から得た教訓」

矢野 真一郎 (九州大学大学院工学研究院環境社会部門・教授)

14:30~15:10 「西日本豪雨災害における愛媛県の被害の特徴」

森脇 亮 (愛媛大学大学院理工学研究科・教授)

--休憩 (15:10~15:30) --

15:30~16:10 「西日本豪雨災害における岡山県の被害の特徴と課題」

前野 詩朗 (岡山大学大学院環境生命科学研究科・教授)

16:10~16:50 「西日本豪雨災害における広島県の被害について ―「相乗型豪雨災害」とその特徴―」

土田 孝 (広島大学大学院工学研究科・教授)

16:50~17:20 質疑応答

17:20~17:30 閉会挨拶

主催：山口大学グローバル環境・防災学研究会

後援：山口大学応用衛星リモートセンシング研究センター

場所

会場：山口大学工学部 D11 講義室

山口県宇部市常盤台 2-16-1

- ・ 宇部空港からタクシーで 10 分
- ・ JR 宇部新川駅からタクシーで 15 分
- ・ JR 宇部新川駅から宇部市営バスで 15 分



CPD

CPD 認定 未定

【土木学会番号】
未定



※CPD申請書・受講証明書について、
必要な方はCPD受講証明書を発行いたします

参加申込・問い合わせ

- 申込書に必要事項を記入し、件名「平成 30 年 11 月 10 日講演会参加申し込み」と明記の上、下記までメールにてお申し込み下さい。
- 同等内容の FAX でも受け付けます。

申し込み先

〒755-8611 山口県宇部市常盤台 2-16-1 山口大学工学部 (担当：是久)

TEL:0836-85-9339 FAX:0836-85-9301 E-mail: korehisa@yamaguchi-u.ac.jp



※ 申込締切は 平成 30 年 11 月 5 日(月)まで

参加申込書 (FAX 宛先：0836-85-9301)

ご連絡先	〒 ー 住所
	TEL. _____ E-mail _____

参加者氏名	所属	備考